

NHK 特集番組で紹介された長谷川教授の認知症体験記

2021年9月22日

太田隆次

先日、中西さんから、認知症の権威で、自らも認知症の長谷川和夫聖マリアンナ医科大学教授(93歳)の著書の紹介がありました。

今朝、先生の認知症医としての啓蒙活動や、自らの闘病生活の奥さんと娘さんを巻き込んだ赤裸々なドキュメンタリーが、NHKで放映されました。著書以上に迫力があり、本人だけでなく家族の対応を含め、特に私達の年齢層にはとても参考になります。

所で見損ねたNHKの特集番組の再放送を見るには有料:オンデマンド(有効期間制限なし)
無料:NHKプラス(1週間程度の有効期間制限あり)と二つの方法があります。

「NHKプラス」は一週間ほどなら無料でネットで何回も見られます。

既に活用されている方も多いと思いますが手順を簡単に説明します。(今朝の長谷川先生のドキュメンタリーは9月29日までご自宅のパソコンで自由に見られます)

IDとPWを、下を参考にNHKに最初の一回だけメールで登録して下さい。その後、5日ぐらいでNHKからOKの返事がハガキで来ます。それ以後は自由にネット上のやりとりです。

今回の長谷川先生のドキュメンタリーの無料再放送期限には間に合わなくても、今後もしNHKでつい見損ねた特集番組は、一週間ぐらいならこの「NHKプラス」で手軽にパソコンで呼び出して無料で見られます。便利さを共有しましょう。

「NHK プラス」のご利用はこちらです

<https://nhk.jp/plus>

「NHK プラス」の詳しいご案内はこちらです

<https://nhk.jp/plusinfo>

パスワード変更など「マイページ」はこちらです

<https://pid.nhk.or.jp/s/mypage>

太田隆次

もしご不明のことがあれば私にメールを下さい。

太田様

ありがとうございます。おかげさまで、かねて登録してあった NHK プラスでこの番組を拝見しました。見てよかったです。

認知症という名前の名付け親の研究者が90歳になってご自身が認知症となられて3年に及ぶ追跡記録番組でした。自分の恥ずかしい生きざまも、そのまま記録させたのは認知症研究者であり長谷川先生の研究の集大成だあったのだとわかります。まことに貴重な記録です。

認知症になりはじめは、暗い、つらい状況が続きます。まず自分に何事も確信が持てなくなります。同じことを繰り返して話したり、聞いたりし始めます。不安になり、うつ病にもなり、死を求めるようにすらなります。家族をうっとうしがったり、認知症の暗い生活が写されます。この番組では出なかったですが、別のインターネットで息子さんの証言では家に帰れなくなった宅配便のお兄さんに宅配されたりしたそうです。認知症の症状として紹介されている暗い側面を、先生は自ら体験していくのです。

そしてこの番組のすごいところは、認知症になって3年後、はじめ暗かった先生の表情が、明るくなっていくところまで追跡していることです。はじめは馬鹿にして、いきたくないと言っていたデイサービスにも、家族にこれ以上迷惑をかけないようにと施設に行き、風呂にも入れて、いいところだというようになります。。

番組終わりの5分ほどで、先生はこう言います。認知症は人生の余計な重荷を捨て、心配だったことも忘れることができる、まさに神の贈り物だ。何事も笑い、終わりはお礼を忘れずに。と先生が休む前に奥さんとカメラに向かってありがとうと言われるところで終わるのです。

まさに認知症のすべてを教えてくれる番組で、これで認知症になることが恐ろしくなくなりました。

野口幹夫